

# 聖霊降臨節第16主日

<b>朝第1礼拝</b> 9:00~10:10	<b>朝第2礼拝</b> 10:30~12:00	<b>夕礼拝</b> 18:00~19:10
〈神の招き〉 前 奏 招きの詞 交読詩編 讚美歌	② 強き王なる主をほめまつれ 詩編 121 : 1~8 65 : 6~14 7	ヴァルター
〈神の言葉〉 聖 書	イザヤ書 42 : 1~4 マルコによる福音書 9 : 38~41	(旧約 聖書協会共同訳 1112 頁) (新約 聖書協会共同訳 79 頁)
祈 禱 讚美歌① 奉 唱② 説 教 祈 禱 黙 想 讚美歌 聖 餐 讚美歌	50 III-24 「主イエスの味方」 542 78	熊江秀一牧師
〈神への応答〉 信 仰 告 白 献 金 主 の 祈 り 宣 教 報 告②☒ 頌 栄 派遣と祝福 後 奏 宣 教 報 告①	日本基督教団信仰告白 29	

**今週の御言葉**  
(マルコによる福音書 9 : 40~41)  
私たちに逆らわない者は、私たちの味方なのである。よく言うておく。あなたがたがキリストに属する者だという理由で、一杯の水を飲ませてくれる人は、必ずその報いを受ける。

## 次週の礼拝 (9月8日)

① 9:00、② 10:30 説教「異教徒の間で生きる」甲賀正彦伝道師 エレミヤ書 50 : 4~7、ペトロの手紙一 2 : 11~25 交読詩編 23 : 1~6 讚美歌 211、505、566、29	☒ 18:00 説教「金持ちとラザロ」熊江秀一牧師 詩編 18 : 26~37、ルカによる福音書 16 : 19~31 交読詩編 23 : 1~6 讚美歌 21、83、402、29
--	---

\*礼拝中、起立が難しい方は、着席のままどうぞ。\*は祈禱当番の方。\*①は朝第1礼拝、②は朝第2礼拝、☒はサテライト、☒は夕礼拝。

**■今週の祈禱課題■** 独り祈る時、共に祈る時にお覚えください。

1. キリストの体なる教会が豊かに形成される為に
2. 東日本大震災と能登半島地震の被災者の為に
3. 9月の説教の為に
4. 牧師・伝道師の為に
5. 防災訓練の為に
6. 関連幼稚園の2学期の為に
7. イスラエルとパレスチナ、ウクライナ、世界の平和の為に
8. 病気の兄弟の為に

**\*関東教区お祈りカレンダー** 足利東教会 佐野教会 鹿沼教会

◇先週の説教より 「いちばん偉い者」 マルコによる福音書 9 : 33~37、詩編 8 : 1~10 熊江秀一牧師

「誰が一番偉いか」。主の弟子たちは言い合っていた。この姿をだれも笑うことはできない。私たちは常に他人を比較し、自分が上にいることを望んでいる。

彼らにとって、主イエスは、どういう方だったのか。彼らは「あなたは、メシアです」と信仰を告白した。しかし十字架と復活を理解できない彼らは、主に従うことを、偉くなることと考えていた。

そんな弟子や私たちに、主イエスは本当の偉さを語る。「すべての人の後になり、すべての人に仕える者となる」ことである。

「偉い」は「選ぶ」という言葉からできている。神に選ばれ、神に愛されていることに本当の偉さ、価値がある。神に愛され、神の選びに生きる者は、すべての人の後になり、仕えて生きるのである。

さらに主イエスは一人の子どもを連れて来て、真ん中に立たせ、抱き寄せて言う。「私の名のためにこのような子どもの一人を受け入れる者は、私を受け入れるのであ

る」。無力な小さい幼児を真ん中に置き、主の名によって受け入れる。主はそれが神の前に偉大な生き方だと宣言する。

その先頭に立つのが主イエスご自身である。主は天の御座を捨てて、人となられ、私たちの罪を贖い、十字架の道を歩まれた。主自らが小さき者となり、私たちを愛して下さった。この主の愛と選びに生きる者は、主の御名のために、自分を小さくし、小さき者と共に歩む。

このカファルナウムの家はペトロの実家だったと考えられる。主が抱き上げた子どもはペトロの最も身近な人であった。私たちが受け入れるべき人は、私たちの目の前にいる。最も身近な人を、主の御名のために受け入れる。それがこの世の中で主を受け入れることである。

十字架の主をあおぎつつ、主の愛と選びの中で、仕える人生を歩もう。